

せいかつ ほ ご
生活保護のしおり



いわでしふくしじむしょ
岩出市福祉事務所

〒649-6292

いわでしにしの ぼんち いわでしやくしよ しゃかいふくしか
岩出市西野209番地 岩出市役所 社会福祉課

でんわ
電話 0736-62-2141

生活保護とは

生活保護は、憲法第25条に規定する理念に基づき、すべての国民に対し、「健康で文化的な最低限度の生活」を保障する制度です。病気やケガ、高齢で働くことが困難になったなど、いろいろな事情で生活に困った場合、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長することを目的としています。

生活保護の原則

1. 申請保護の原則

生活保護を利用するには、原則として本人の意思で申請することが必要です。ただし、重病で申請の意思を示せないなど、急迫した状態でただちに保護が必要な場合などは、申請の意思がなくても保護が行われることがあります。

2. 基準・程度の原則、必要即応の原則

保護の金額は、国において定められた基準により、年齢・世帯構成・所在地・健康状態などに応じて決定されます。

3. 世帯単位の原則

保護は、同居している世帯を単位として行います。世帯とは世帯員が一緒に居住し、生計を共にしていることを指すため、血縁関係や婚姻関係になくても、世帯としての実態があれば、原則として同一の世帯として保護の要否を判定します。

せいかつ ほ ごしんせい てつづ 生活保護申請の手続き

1. 相 談

せいかつ ほ ご りよう また せいど し ばあい
生活保護を利用したい、又は制度について知りたい場合は、
いわでし ふくしじむしょ そうだん
岩出市の福祉事務所にてご相談ください。

2. 申 請

せいかつ ほ ごしんせいしょ じゅうしょ しめい せたいじょうきょう きにゆう ふくしじ
生活保護申請書に住所、氏名、世帯状況などを記入し、福祉事
むしょ ていしゅつ
務所に提出してください。

しんせい ひつよう しょうい しりょう しゅうにゆう かん
なお、申請にあたって必要な書類や資料（収入に関するもの、
しさん かん ほんにんかくにんしょうい ていしゅつ ねが ばあい
資産に関するもの、本人確認書類など）の提出をお願いする場合
があります。

しんせい じさん れい 【申請に持参するものの例】

じさん しんせい でき
※持参されなくても申請することは出来ます。

- ① しゅうにゆう かん せたいぜんいん しゅうにゆうじょうきょう
収入に関するもの・・・世帯全員の収入状況がわかるもの
きゅうよめいさいしょ ねんきんふりこみつうちしょ
(給与明細書や年金振込通知書)
- ② しさん かん よちよきん げんきん ほけん ふどうさん
資産に関するもの・・・預貯金、現金、保険、不動産などの
じょうきょう つうちょう けいやくしょ
状況がわかるもの(通帳や契約書)
- ③ ほんにんかくにんしょうい うんてんめんきょしょう
本人確認書類・・・マイナンバーカードや運転免許証など

3. 調査

申請手続き後、生活に困っておられる状況や生活保護を利用するための要件を満たしているかについて、福祉事務所が必要な調査をおこな行います。

4. 決定

調査結果にもとづいて、国が定めている基準をもとに世帯の最低生活費を計算し、収入と比べて、生活保護が必要かどうかを決定します。

保護を利用できるかどうかは、申請のあった日から14日以内（調査に時間を要したときは30日以内）に通知します。

生活保護を利用するにあたって

1. 能力の活用

世帯の中で働くことが可能な人は、その能力に応じて働いて収入を得るよう努める必要があります。

2. 資産の活用

預貯金、有価証券、生命保険、土地家屋、自動車、高価な貴金属などの活用が可能な資産がある場合は、その資産を処分して生活費に充てて頂く場合があります。ただし居住用の不動産

こべつ じじょう じどうしゃ しさん ほゆう みと ばあい
や個別の事情により自動車などの資産の保有が認められる場合も
ありますので、ご相談ください。

3. 他の制度の活用

せいかつ ほ ごいがい かくしゅねんきん てあて いりょうじよせい しゃかいほしょうせいど
生活保護以外に各種年金や手当、医療助成、社会保障制度

ほか せいど かつよう ばあい ゆうせん
など、他の制度を活用できる場合は、まず、それらを優先し
て生活費や医療費に充ててもらわなければならない必要があります。

れい こようほけん ろうれい しょうがい いそくねんきん じどうふようてあて
(例：雇用保険、老齢・障害・遺族年金、児童扶養手当など)



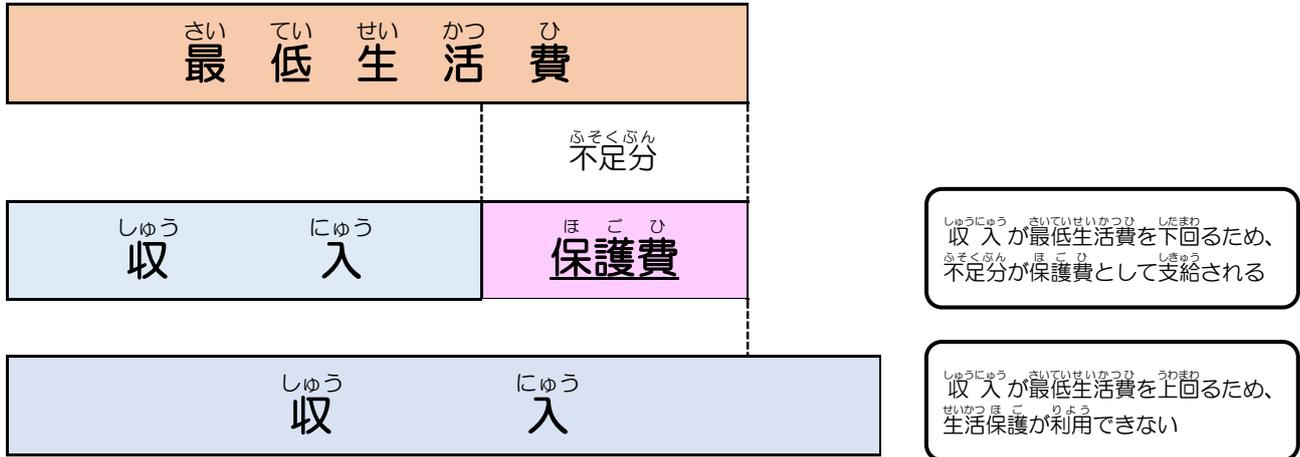
4. 扶養義務者の扶養

りょうしん こ きょうだいしまい しんぞく えんじょ う
両親、子ども、兄弟姉妹といった親族から援助を受けること
ができる場合は、援助を受けてください。ただし、親族による
扶養は保護の要件ではないため、扶養義務者が扶養しないことを
理由に生活保護を受けられないということはありません。

また、DV（家庭内暴力）や虐待、家族関係が良好でないな
ど特別な事情がある方については、親族への扶養照会を行いま
せんので、ご相談ください。

生活保護費の計算

国が定めた基準「最低生活費」とあなたの世帯の収入とを比べて、その足りない分だけ保護費が支給されます。



※収入…就労収入、各種年金、社会保障給付、親族からの援助など

最低生活費

保護費の基準となる最低生活費は、世帯構成（人数や年齢）、お住まいの市町村によって違います。

世帯の人数が多いほど最低生活費は高くなります。また、母子世帯や障害者がいる世帯などは保護費が加算されることがあります。その他、11月～3月までは冬季加算が認定されます。

しゅうにゆう 収入

せたい しゅうにゆう ねんきん きゅうりょう てあて ないしょく
世帯のすべての収入（年金、給料、手当、ボーナス、内職
しゅうにゆう えいぎょうしゅうにゆう しおく ふどうさんしゅうにゆう ほけんきん はいとうきん
収入、営業収入、仕送り、不動産収入、保険金の配当金、
いしやりょう
慰謝料など）です。

こうこうせい しゅうにゆう かなら しんこく
高校生のアルバイト収入についても必ず申告してください。

こうこうせい しゅうにゆう じゅぎょうりょう ぷそくぶん
ただし、高校生のアルバイト収入のうち、授業料の不足分や
しゅうがくりょこうひ がくしゅうじゅくだい だいがく せんもんがっこう にゅうがくきん あ
修学旅行費、学習塾代、大学・専門学校の入学金に充てるな
ど、自立更生に使用するためと認められたものは、収入として
じりつこうせい しょう ひと しゅうにゆう
認定しない場合がありますので、担当ケースワーカーにご相談くだ
さい。

こうじょ 控除

じっぴこうじょ しゃかいほけんりょう こうつうひ き そこうじょ しゅうにゆうがく おう
実費控除（社会保険料、交通費など）や基礎控除（収入額に
きんがく こと
応じ金額が異なります。）というものです。

こうじょ きんがく しゅうにゆうにんてい きんがく さ ひ
これらの控除の金額は、収入認定の金額から差し引かれます。



生活保護の種類と内容

生活上の必要な費用に応じ、次に掲げる扶助が支給されます。

■生活扶助

衣食、光熱水費など日常生活に必要な費用など

被服費（紙おむつ等）、家具什器費なども要件に

あてはまれば支給できる場合があります。

■住宅扶助

家賃、地代、更新料など

■教育扶助

小・中学校の学用品、給食費など

■医療扶助

保険適用内の医療費

治療材料や施術、通院交通費なども要件にあては

まれば支給できる場合があります。

お薬も保険適用であれば自己負担はありません。

■介護扶助

介護サービスを利用する費用

■生業扶助

高等学校等の就学に必要な費用

就職や技能、資格取得にかかる費用

■出産扶助

出産にかかる費用

■葬祭扶助

保護を受けている人が行う葬儀の費用

支給にあたっては、領収書などの書類が必要な場合があります

ので、事前に担当ケースワーカーにご相談ください。

生活保護利用中のこと

1. 権利として保障されること

- (1) 正しい理由がなければ、既に決められた保護はあなたに不利になるような変更はされません。
- (2) 保護として受けたお金や品物を標準として税金、その他の公課を課せられません。
- (3) 保護受給中は、NHKの放送受信料が免除されます。
(申請手続が必要になります。)
- (4) 既に支給された保護金品又は保護を受ける権利を差し押さえられることはありません。
- (5) 保護を受ける権利を他の人に譲り渡すことはできません。

2. 義務として守ってもらうこと

- (1) 生活上の努力をすること
自分の能力に応じて働き、毎日の支出について計画的な暮らしをするよう心がけること。
- (2) 自動車を保有しないこと
生活保護受給中は、原則として、自動車やオートバイなどの保有はできません。個別の事情により自動車などの保有が認められる場合がありますので、担当のケースワーカーに相談してください。

(3) ^{とど} ^で 届け出なければならないこと

^{つぎ} 次のときは、すみやかに^{ふくしじむしょ} 福祉事務所に^{とど} ^で 届け出てください。

① ^{しゅうにゅう} ^{じょうきょう} ^か 収入の状況が変わったとき

^{きゅうりょう} ^{ちんぎん} ^{てあて} ^{おんきゅう} ^{ねんきん} ^{ふじょりょう} ^{しおく}
給料、賃金、手当、恩給、年金、扶助料、仕送り、
^{でかせ} ^{しゅうにゅう} ^か
出稼ぎ、などの収入が変わったとき。

※ ^{しゅうにゅう} ^{へんこう} 収入の変更がなくても、^{さいていねん} ^{かい} ^{しゅうにゅう} ^{しさん}
最低年1回は収入と資産
^{しんこく} ^{はたら} ^{かた} ^{げんそく}
の申告をしてください。働くことができる方は、原則
^{まいつきしゅうにゅう} ^{しんこく}
毎月収入を申告してください。

② ^{ししゅつ} ^{じょうきょう} ^か 支出の状況が変わったとき

^{やちん} ^{しゃくちりょう} ^{こさくりょう} ^た ^{ししゅつ} ^か
家賃、借地料、小作料、その他の支出が変わったとき

③ ^{げんざいす} ^{いえ} ^か 現在住んでいる家を変えようとするとき

④ ^{かぞく} ^{いどう} 家族に異動があるとき

^{しゅっしょう} ^{しぼう} ^{こんいん} ^{てんにゅう} ^{てんしゅつ} ^{しせつ} ^{はい}
出生、死亡、婚姻、転入、転出、施設に入るとき。

⑤ ^{びょうき} 病気やけがなどで^{いし} 医師にかかろうとするときや、

^{にゅういん}
入院しなければならないとき

^ほ ^ご ^{かいしご} ^{こくみんけんこうほけん} ^{こうきこうれいしゃいりょうほけん} ^{つか}
保護開始後、国民健康保険、後期高齢者医療保険は使

えなくなりますので、^{しやくしょ} ^{たんとうか} ^{しかくそうしつ}
市役所の担当課で資格喪失の

^{てつづ}
手続きをしてください。^{じょうきいがい} ^{かくしゅけんこうほけんしょう}
(上記以外の各種健康保険証

は、生活保護を受けていても使用できますので、必ず
担当のケースワーカーにお知らせください。)

- ⑥ 会社などで社会保険に加入、または脱退したとき
- ⑦ 保護開始時に福祉事務所が保有を認めた生命保険で、
入院給付金などを受領したとき
- ⑧ 交通事故に遭ったとき



3. 指導、指示について

福祉事務所が行う生活保護の目的を達成するための必要
な指示や指導に従ってください。従っていただけない場合
には、保護の変更、停止または廃止などの措置がとられるこ
とがあります。

4. 病気やケガをしたとき

生活保護を利用（受給）している方は、病気やケガをしたとき、保険適用内の治療について原則自己負担なく受診することがきます。

- (1) 医療機関で治療を受けるときは、福祉事務所が発行する『医療券』が必要となりますので、福祉事務所で『医療券』を受け取り、医療機関の窓口に提出してください。
- (2) 医療機関を受診するとき、生活保護の指定医療機関で受診してください。（指定医療機関でない医療機関で治療を受けたときは、医療費を実費で支払わなければならないことがありますので、事前に担当ケースワーカーに確認してください。）
- (3) 急病などの緊急時や夜間・休日などの閉庁時で事前に来庁できないときは、医療機関に生活保護を受給していることを伝えて受診し、その後、福祉事務所の開庁時に速やかに担当ケースワーカーに連絡してください。
- (4) 同じ病気やケガで複数の医療機関を受診することはできません。かかりつけ医をもち、まずはかかりつけ医に相談してください。

(5) 原則として、後発医薬品（ジェネリック医薬品）を使用し
ていただくこととなります。ただし、医師が医学的知見に
基づき、先発医薬品の使用を認めた場合などは、この限り
ではありません。

5. 保護費の返還について

次のような場合は、過去の生活保護に要した費用を返還し
ていただくことがあります。

(1) 不正に保護を利用した場合

届出義務を怠って、収入申告をしなかったり、偽
りの申告をして不正な方法で扶助費を受給した
場合。（法律により罰せられることがあります。）

(2) 資産がありながら保護を受けた場合

- ① 急病にかかるなど急迫した事情にある場合で、
一定期間を経なければ売却処分ができないような
資産を持っているが、その期間生活に困るような場合。
- ② はじめ資力がないと認められた世帯が、あとになっ
て資産があることがわかった場合。

(3) 生活状況などの変更処理が遅れた場合
収入が増えた、世帯の人数が減った、入院期間
が1か月を超えたなど、生活状況などに変化があ
ったにもかかわらず、届出が遅れるなどして変更
処理が間に合わず、保護費を支給することになって
しまうことがあります。この場合、支給し過ぎた
保護費を返還していただいたり、翌月以降の保護費
で調整したりする場合があります。

6. 保護費の支給について

毎月5日（土曜日、日曜日、祝日のときは前日）に保護費
を支給します。基本的には口座振込とさせていただいており
ますので、ご希望の振込先を申し出てください。

7. その他について

保護受給中は、NHKの放送受信料が免除、市県民税や
固定資産税、軽自動車税が減免、住民票や納税に関する
証明などの交付手数料が免除される場合があります。

手続きの際に生活保護受給証明書などが必要となりますの
で、担当のケースワーカーにご相談ください。

※税金や交付手数料の減免は岩出市の場合です。

他市区町村で手続きされる際は、手続き先に免除等が
可能かお問い合わせください。